



患者さんの作品紹介 「さざんか」

本館1階売店前に「さざんか」が咲きました。患者・利用者さんによる手作りの「さざんか」です。

「つぼみも作った方がいいね」「下に花びらが落ちてるのはどうかね」とアイデアを出し合いながら制作しています。横に書かれた「さざんか」は、長年書道に携わってこられた患者さんが書いた作品です。

さざんかの前を通りがかる患者・利用者さんからは「畑に咲いてたよ」「生垣にあったのを思い出すね」と懐かしむ姿があります。2階東病棟の吹き抜けからは「花がまたひとつ増えたね」と笑顔で覗き込み、観察を楽しむ様子が窺えます。作る人、見る人、「さざんか」は院内の患者・利用者さんのコミュニティとなっているようです。



リハビリテーション部
レクリエーションセクション

鶴巻温泉病院の理念

使命 (mission)

- リハビリテーションを横軸とし、回復期、慢性期、難病、緩和、訪問の多機能を縦軸とした、全人医療・介護を実践する

共有価値観 (core values)

- 尊厳 高質 協調 思いやり 品格

将来展望 (vision)

- 地域包括ケアシステムの医療・介護の中心となる多機能慢性期病院

contents

- 患者さんの作品紹介
- 医事課通信 Part3
- 日本慢性期医療学会
- 院内提供食の紹介
- 院長室より
- 連携医療機関のご紹介
- リハビリテーション部より
- 訪問リハビリ平塚サテライト

夢があるから、がんばれる。



鶴巻温泉駅(急行停車駅)下車
駅前通り150m
ご相談 ☎0120-311146



回復期リハビリ 障がい・難病リハビリ 高齢医療
地域包括ケア 緩和ケア
医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院
鶴巻温泉病院介護医療院

医事課通信 Part3

マイナ保険証と限度額認定証について



昨年12月より保険証新規発行の廃止とマイナ保険証の本格運用が開始してから2カ月が経過しました。皆さんはもう既にマイナンバーカード(以下、マイナカード)をマイナンバー保険証(以下、マイナ保険証)として使っていますか？

以前の鶴巻NEWSの記事で、限度額認定証の概要について、お伝えしました。

今回はマイナ保険証と限度額認定証のことについて触れたいと思います。

マイナ保険証に切り替わる昨年12月よりも前は、入院時に健康保険証と限度額認定証の提示を各医療機関では求めていました。

しかし、マイナ保険証の運用が本格稼働した今は、従来発行していた紙タイプの限度額認定証に掲載されている情報は、患者さんの同意を得られていれば、受診した医療機関が専用回線を使用して、オンライン上で確認をする事が可能となりました。

従来は限度額認定証の発行には申請行為が必要でしたが、マイナ保険証になってからは、この申請が不要となりました。

また、医療機関の窓口で支払う医療費(特に入院費)も限度額を適用した金額となり、経済的な負担が軽くなるといったメリットが出るようになりました。

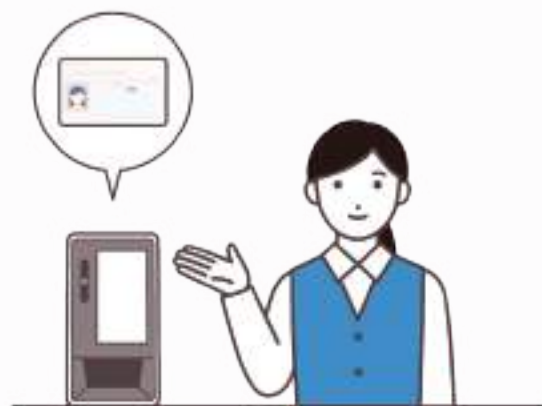
一方、介護保険証、指定難病の医療証や重度障害の医療証などは、まだまだ整備段階にあるようで、マイナ保険証のように専用回線を使用してオンライン上で確認をする事は現段階ではできません。整備が整うまでは、従来通り、医療機関に紙で提示することになります。

マイナ保険証を持っている方は、マイナ保険証+医療証を医療機関に持参する(限度額認定証は不要)形となります。マイナカードが無い方、或いはマイナ保険証としての機能がまだの方は、「資格確認証」を保険証代わりに持参して受診することになります。

最後に、当院の入院患者さんのご家族がマイナ保険証を持参した場合は、本館1階の受付にある認証機で資格確認をする事になります。

認証方法は、「顔認証」または「暗証番号」で行いますので患者さんのマイナカードの暗証番号がわからないと認証ができないという事態になります。

認証ができないと患者さんの保険情報の取得ができず、正しい入院の保険請求ができなくなってしまう為、資格確認証(医療証等がある場合は医療証もあわせて)の持参をお願い致します。



第32回 日本慢性期医療学会がパシフィコ横浜ノースで開催されました 【11月14日(木)～15日(金)】



椎木医師（泌尿器科医長）



水谷看護師（看護師特定行為研修修了者）

「"治し・支える" 良質な慢性期医療～サイエンス・アートの調和と統合～」矢野 諭学会長（平成扇病院院長）をテーマに約2千人の参加がありました。

多くの演題が発表された中で、椎木一彦医師と排尿ケアチームによる「当院での排尿自立支援活動の紹介と実績報告」が優秀演題賞に選ばれ表彰されました。（650に及ぶ演題のうち10題のみが選ばれる狭き門でした。）

～優秀演題に選ばれた椎木一彦医師からのコメント～
まさかの受賞となりましたが、これは多くの病院が苦労されていることの表れではないかと思います。今回の発表を視聴してくださった方々にそれぞれの施設で活かせるものを提供できたのであれば嬉しいです。日頃の活動を共にしているチームのメンバーやご支援いただいている皆様に感謝いたします。

「慢性期医療における特定看護師の活躍の場」をテーマにしたシンポジウムでは 特定行為研修を修了した水谷 小百合科長が現状について議論いたしました。

院内提供食の紹介

「イベント食～開院記念日」

当院では定期的に季節・行事に合わせたイベント食を提供しています。11月は「開院記念日」としてハマチやかぼちゃなど、旬の食材を使ったお食事を提供しました。

ハマチはカマのついた状態で皮を剥ぐところから当院の厨房で調理を行っています。入院中に刺身が食べられると思っていたいなかったと患者さんの笑顔が見られました。また、飲み込みの機能が低下している方の副菜には可愛い絵柄を一つひとつ描き、華やかに仕上げています。

今後も患者さんからの感想やご意見を参考に、イベント食や日々の食事に活かしていきます。

<献立>

ご飯、赤出汁、刺身盛り合わせ（ハマチ、マグロ）、かぼちゃ茶巾絞り、デザート（和風モンブランまたは手作りプリン）

■ 常食 ■



■ ミキサー食 ■



患者さんに合わせた食事形態で提供しています。

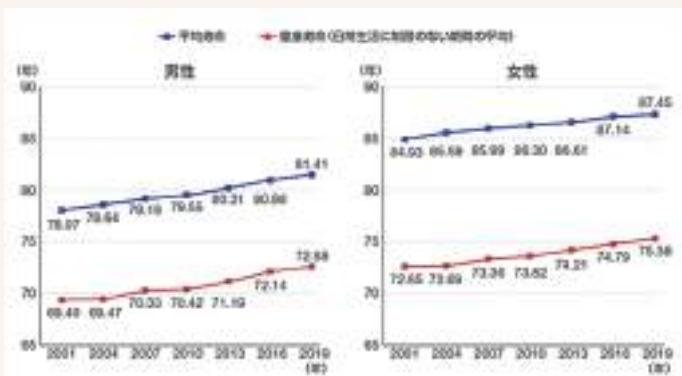
「皆さんの健康寿命を延ばしましょう」

2023年の出生数は72万人で、コロナ禍のため急速に減少しています。戦後のベビーブーマーの時には最大269万人生まれていましたから、いかに少なくなったかが分かります。

2025年にはベビーブーマーの800万人全員が75歳以上の高齢者になります。この状況が続けば、2040年には65歳以上の人口が全人口の35%を越えます。労働人口（15歳～64歳）は2022年の6900万人から6000万人に減ってしまいます。これでは日本は人が足りず産業が衰退し、医療・介護・福祉に関わる人もいなくなります。この問題を少しでも和らげるには、子供を増やす、高齢者も働く、外国から来てもらう等の対策が必要です。

図は日本人の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）のグラフです。男性が72歳、女性が75歳です、平均寿命まではだいぶ時間があります。これからの目標は健康寿命を延ばすことです。健康寿命を延ばして、働けるうちは頑張って働きましょう。ご自分のやりがいにもなりますし、経済的にも助かります。そんなに無理しないで、自分に合った働き方でいいと思います。それが日本のみんなのためになります。

最近孫が生まれたので、お雛様をヒノキの木彫りで作りました。



出典：厚生労働省 2022年 健康寿命と平均寿命の推移



夏の子の立雛 作 左龍太郎 わきたけいこ

医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院

湘南メディカルセンター／湘南リハビリテーションセンター

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 1-16-1
TEL 0463(78)1311 FAX 0463(78)5955



日本医療機能評価機構

地域連携室 ☎ 0463-78-1319

入院相談専用ダイヤル ☎ 0120-131-146

ご意見フリーダイヤル ☎ 0120-250-646
(バイセント・ベル)

- 診療科：内科、脳神経内科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、歯科
- ベッド数：一般・療養病床 499床 介護医療院 52床

●外来診療時間（受付時間）

【月～金】14:00～17:00（13:30～16:30）

【土】9:30～12:30（9:00～12:00）

（第1・第3・第5のみ）

休診 第2・4土曜、日曜・祝日、年末年始

●湘南リハビリテーションセンター

回復期リハビリテーション病棟入院料1 200床

●湘南メディカルセンター

回復期リハビリテーション病棟1 200床

医療一般・障害者施設等入院基本料 55床

医療一般・特殊疾患病棟1 60床

医療療養病棟入院料1 120床

医療一般・緩和ケア病棟1 25床

地域包括ケア病棟入院料2 39床

●鶴巻温泉病院介護医療院

I型介護医療院（I） 52床



病院ホームページ

●交通案内

●車でお越しの場合

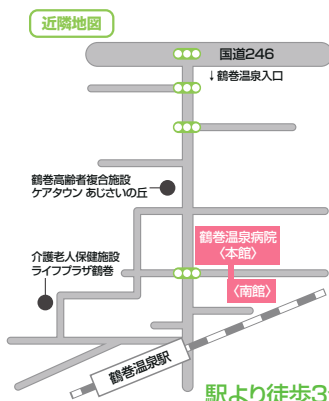


●電車でお越しの場合



鶴巻温泉駅までの所要時間

新宿から	小田急線 急行・快速急行	約60分
小田原から	小田急線 急行・快速急行	約30分
横浜から	相鉄線・海老名乗換→小田急線	約55分
藤沢から	小田急線・相模大野乗換	約55分



駅より徒歩3分



鶴巻温泉病院 全景

連携医療機関のご紹介

かわしま神経内科クリニック

当クリニックは、2002年10月に開業し2008年より介護保険による訪問リハビリテーションを行っています。世界標準の医療とケアを提供できるようスタッフ一同力を合わせ、その成果を地域から世界へ届けたいと願っています。具体的には、医療福祉担当者だけではなく、パーキンソン病や認知症の人やご家族、地域の人を含めた学習し自ら再生し続けるコミュニティづくりを目標としています。2023年1月より共有地(株)による「くげぬまPDADポート」を併設し、より初期の病気の人向きの作業療法士や言語聴覚士、ご家族による運動グループがいくつも生まれました。

鶴巻温泉病院様には、パーキンソン病などの神経難病進行期のリハビリテーション入院で大変お世話になっております。お陰様で多くの方が骨折や肺炎後も以前と同様に自宅で過ごせています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



院長：川嶋乃里子

- 住 所 藤沢市鵠沼松が岡5-13-17
- 電 話 0466-55-1358（予約制）
- 診療時間 午前9:00-12:30 午後14:30-18:00
- 訪問診療 火曜日午後、木曜日全日
- 休 診 日 日曜祝日、土曜日月2回午前のみ



リハビリテーション部より

ジーツス 新しい機器“G-TES”を導入しました



社会的背景の変化に伴い、回復期病棟に入院する患者さんに変化が表れており、発症間もない患者さんや重度の障害を有した患者さんが多く入院されるようになりました。重度の障害を有した患者さんであっても可能な限り安全かつ有益なリハビリテーションを提供できるよう、リハビリテーション部では、2024年9月にG-TESというベルト電極式骨格筋電気刺激装置を導入致しました。

G-TESは、ベルト電極により、広範囲の筋肉を動かし、目的に応じて筋力トレーニングや有酸素運動が行える装置であり、ベッド上にながら目的に応じた練習が行えるようになっていきます。

今後も当院に入院される患者さんの特性合わせ、安全かつ有益なリハビリテーションが提供できるよう努力していききたいと思います。

訪問リハビリテーション平塚サテライトを開設しました！



これまで、当院では訪問リハビリテーション（以下、訪問リハ）のサービスを拡大してきました。2013年8月に鎌倉サテライト、2014年10月に足柄サテライト、そして2021年12月に藤沢サテライトを開設しており、今回は平塚の拠点となります。

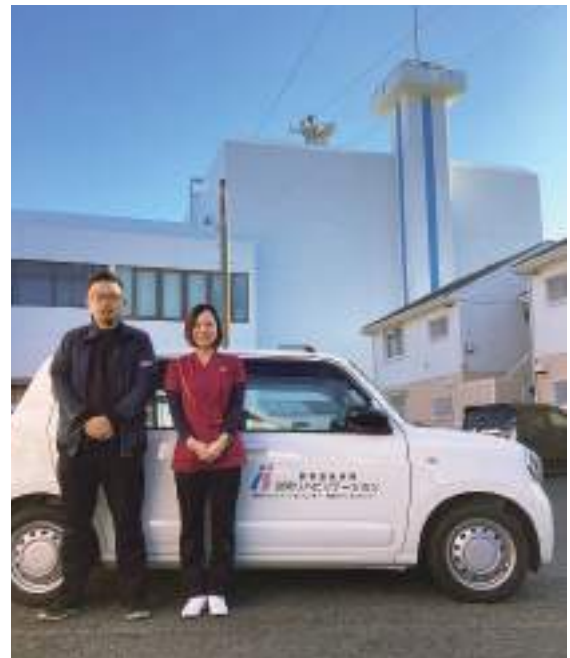
訪問リハサテライト設立の背景には、当院で回復期リハビリテーション病棟を経て退院された患者さんの生活圏のニーズを考慮してきた経緯があります。これまでは、鎌倉市や藤沢市が生活圏である患者さんも多い状況でしたが、近年では平塚市が増加しています。現在では、当院訪問リハの利用に繋がる当院入院患者さんの生活圏TOP3が、平塚市（39%）、小田原市（25%）、秦野市（18%）となり、平塚市が最も多い状況です。

そのため、2024年3月に鎌倉・藤沢サテライトを閉鎖し、2024年10月に平塚に新しい拠点を設けることにしました。

これまで平塚市内で訪問リハを行ってきましたが、新しい拠点を設けたことで平塚市に加え、大磯町や二宮町への訪問がよりスムーズになり新規の依頼にも迅速に対応できるようになりました。

また、平塚市は当院の拠点である秦野市と比べて訪問リハ事業所の数が少ない一方、高齢化が進みリハビリテーションの需要が高まっています。これに応えるため、より多くの方に訪問リハを届けられるよう努めてまいります。

当院の訪問リハでは、退院後も患者さんが「生きがい」を持って地域で生活を送ることができるよう自律支援をすることを目指しています。回復期リハビリテーション病棟で自宅復帰を目指して頑張ってきた方や、当院退院者のみならず疾患により心身の機能が低下している方の、行いたい活動や家庭・社会での役割を重視したリハビリテーションを提供していきます。



～お問合せ先～

鶴巻温泉病院 在宅医療介護支援室

電話番号：0463-78-1411（平日9：00～17：30）